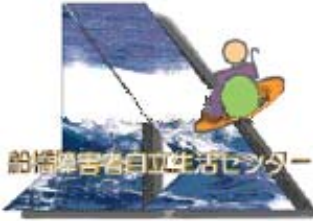


SSKP 船橋障害者自立生活センターニュース

2001年10月8日発行 第39号



編集：特定非営利活動法人
船橋障害者自立生活センター事務局
〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1F
郵便振替「00140-9-609088」
TEL：047-432-4554 / FAX：047-432-4565
URL：http://www.cil-funabashi.org/
E-Mail：cil-funabashi@cil-funabashi.org

NPOとしての活動がスタートしました

代表 杉井 和男

当センターの課題のひとつであったNPO（特定非営利活動法人）の認証が認められ、さる8月23日から法人としての活動をはじめることになりました。

従来の任意団体としての活動を一步進めて社会的存在として活動を進めていくこととなります。ということは、センターの果たすべき責任も従来以上に大きくなったことを意味します。

しかし、財政的に不安定な状況や介助者が慢性的に不足している状態など、以前から持越しになっている課題も少なくありません。事務局が広がって、仕事の効率は確かに向上しましたがそれに伴う出費の拡大の問題も大きな懸案事項です。

前号でお知らせしたように法人になって役員体制も一部変わりましたが、活動の中身は基本的に変わる訳ではありません。

センターの基盤を作るという一番大変な時期に10年近くにわたって、代表を務めてくださった宮尾さんに心から感謝を申し上げます。その後を受ける者としてはあまりにも微力ではあるのですが事務局スタッフや会員のみなさんのご協力を頂いてセンターの活動を通して船橋という地域が障害者を含めてみんなにとって住みやすいまちになるように願って全力を尽くしたいと思います。

いずれにしても、従来にも増して会員のみなさんや地域のみなさんの一層のご支援やご協力が必要な状況になっていると思います。今後とも、センターの発展のために多くの皆さんのご支援をお願いしたいと思います。



盛大におこなわれた 新事務所開所パーティ

去る7月19日木曜日の6時より、移転した新事務所で開所パーティーがおこなわれ、40人ほどの方々が来所し、お祝いしてくださいました。市の福祉局長をはじめ、わたしたちを支援してくださっている方々、他の自立生活センターの皆さんたち。

私たちの活動もこれから事務所の広さと呼応して、より広がりのある豊かな活動を展開していくことが望まれます。



全身性障害者介護人研修会開催のお知らせ

早いもので船橋市の委託を受けて当センターで全身性障害者介護人派遣事業をスタートして以来4ヶ月が経過しました。介護人の皆さんには、いつもご協力を頂いてありがとうございます。

さて、来る11月に今年度2回目の介護人研修会を開催することになりました。今回は実際にこの事業を利用している障害者の自宅を会場にして実技中心の文字通り生活に密着した講習会にしたいと考えております。詳細が決まりましたら介護人の皆さんには改めてお知らせする予定ですが、内容は下記の通りです。ぜひふるってご参加ください。

日時: 11月17日(土) 13:30～17:00

場所: 利用者の自宅(船橋市湊町3-12-6-103 山本宅および104 杉井宅)

内容

1. 車椅子とベッドやトイレとの間の移乗(リフトを使った場合とそれ以外の場合)
2. 着替えの介助
3. 食事の介助
4. その他

参加ご希望の方はセンターまでご連絡ください。

BLACK BOX '01

チャリティーコンサートのご案内

船橋障害者自立生活センター発足10周年記念および千葉盲ろう者友の会設立支援として下記の要項でコンサートを行います。

この度演奏をお願いした「BLACK BOX」は、視覚聴覚両方に障害のある人などの参加しているグループですが、迫力のあるその演奏は音楽の悦びとともに生きることの感動をも伝えてくれます。当日出演の福島智さんは盲聾者で初めて東大の助教授になった方。お話と素晴らしいピアノを聞かせてくださる予定です。

また、収益は千葉盲ろう者友の会設立への支援などにあてられます。

ぜひ、みなさんおそろいで、このチャリティーコンサートにお出かけください。

日時：10月27日(土)

PM5:30 開場 PM6:00 開演

場所：船橋市勤労市民センター B1ホール

入場料：1,500円



出演

江藤 昌弘 (ヴォーカル)

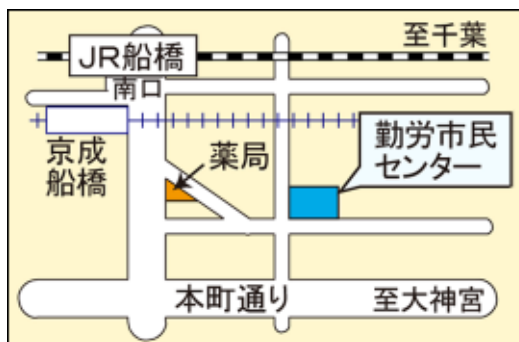
福島 智 (ピアノ&トーク)

久保 智 (ピアノ)

九条 米美 - 榎本 悠起枝 - (三味線&民謡)

主催：特定非営利活動法人船橋障害者自立生活センター

後援：千葉県 千葉県社会福祉協議会 船橋市 船橋市教育委員会 船橋市社会福祉協議会



船橋市勤労市民センター
京成船橋駅から徒歩約3分
JR船橋駅から徒歩約5分

- ◇ 当日券はなくなるおそれがありますので、チケットは事前のお求めをお願いします。
- ◇ ご予約、お問い合わせは当センターまで

Shapo 船橋に要望書を提出

ご存知の方も多いと思いますが、船橋駅に隣接したショッピングセンターShapo船橋の飲食店や食料品店が入っている部分が去る5月下旬に「食鮮館」としてリニューアルオープンしました。ところが、中に入っているお店の中で3つの飲食店が入りに階段がある構造になってしまい、車椅子を使用している人や足腰の弱い人には利用できない構造になりました。

障害者の自立を目指す当センターとしては、バリアフリーの観点から見過ごすことのできない問題であり、同ショッピングセンターを管理しているJR東日本都市開発および船橋市に対して問題の解決を求める要望書を提出しました。

これまでに下記の通り回答を受けましたが、いずれも根本的な解決とは言えない回答であり、私たちにとっては大きな不満が残っています。

当面、JR東日本都市開発が提示した「可動式スロープ」の完成状況をみて、今後の対応を検討していきたいと考えています。

船橋障害者自立生活センター

代 表：杉井和男

事務局長：田沼敏夫

(株)ジェイアール東日本都市開発総武支社支社長殿

Shapo 船橋「食鮮館」のバリアの早急な改善を求める要望書

拝啓

近年、障害者や高齢者の自立と社会参加への意欲の増大によってバリアフリーへの関心が高まり、交通機関、公共施設、それに商業施設などにおいて構造的にバリアになるものを取り除いていこうという動きが盛んになってきています。

しかし、今回改装されたShapo 船橋の食料品および飲食店部門の「食鮮館」は、飲食店のうちいくつかの店舗が入りに階段がある構造になっており、車イス利用者や足腰の弱い人には利用しにくくなってしまいました。また、店内のトイレも以前よりも入口が狭くなり、ドアも設置されて事実上車イスでは利用できない構造となってしまいました。

私たちは、今回の改装に伴って生じた社会的不利益に対して厳重に抗議すると同時に下記の事項を要望します

敬具

記

1. すべての店舗を車イス利用者を含め、障害者が利用しやすい構造に改めること
2. 店舗内に車イス利用者でも使用可能なトイレを設置すること

以上

平成13年8月17日

船橋障害者自立生活センター
代表 杉井 和男

船橋市長 藤代 孝七

残暑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
やさしいまちづくりの推進には、ご理解とご協力をいただきたく厚く御礼申し上げます。
先日、ご要望のありましたことについてお答えいたします。

1・2について

現在、事業者と対応が可能であるかどうか協議中でございます。しかしながら、改装工事が既に完了し開店していることから、その改修には難しい点があることをご理解いただきたいと思います。

3について

バリアフリーの理念につきましては、十分理解いたしております。今後の行政指導に反映できるよう努力してまいります。

ご理解のほどお願い申し上げます。



平成13年9月7日
船橋障害者自立生活センター
代表 杉井 和男様

(株)ジェイアール東日本都市開発
総武支社長 田中 宏

謹啓

平素は弊社並びにシャポー船橋をご愛顧賜りまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

さて、先般改善要望を頂きましたシャポー船橋の設備改善の件に関しまして、次のとおりご回答申し上げます。

シャポー船橋は昭和47年に開業し開業30年目に入り、「店舗内が暗い」とか「商品の品揃えが少ない」「店内へ気軽に利用できる食堂があると良い」という様々な、お客様のご要望にお答えすべく生鮮品、惣菜中心の売り場や食堂の改装に踏み切りました。

改装にあたっては、バリアフリーを考慮、3ヶ所に通路を設け、いずれも緩やかなスロープ化を図り、車椅子で入店がしやすいように工夫いたしました。

入り口のスロープ化により、この付近の店舗の一部に階段が出来ましたが、階段を使用せずに、はいれる入り口を設けることで、問題の解消を図りました。また、東京方に新たな入り口を設け、スロープ化を図り、千葉方入り口にエスカレーターを新設し、地下ファッション街へ階段を使用せずにご利用いただけるように改善しました。

今回の改装では、地域の皆様のご要望にお答えし、生鮮品及びお惣菜を主体にしましたので、店舗内に冷蔵設備や調理設備の場所が必要となり、食堂の一部を別に設置せざるを得なくなり、高低差を出来るだけ少なく工夫を凝らしましたが、鉄道高架下利用の環境立地や技術面が困難なため、やむなくご指摘の3食堂については、階段を設けた店舗にせざるを得なくなりました。

今後もバリアフリーに対しては、誠意を持って対処してまいり所存でございますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、次のように改善いたします。

男性用トイレ入り口の扉を撤去し、車椅子でのご利用が出来るように致します。

東魁楼、ミラノ食堂、とんかつたちばな店につきましては「可動式スロープ」を作成しお声をかけていただければ、直ちに、車椅子をご利用したままお食事出来るように致します。(別図参照)

シャポー船橋は、専門店として、各店には必ず店員を配置し、お客様のご案内やサービスに努めております。ご不便を感じた場合は、ご遠慮なくお申し付けいただき今後とも一層ご利用いただきますようお願い致します。

謹白



産業まつりに出店 大盛況

さる7月21、22日に「船橋産業まつり」が行われましたが、センターでは射的、ルーレット、ヨーヨー釣りの出店を本町通り商店街の方より担当させていただきました。両日ともうだるような暑さでしたが、けっこうお客さんも多く集まってくれました。とくに子どもたちがたくさん集まってきて大繁盛でした。



チャリティーバザー 出店にご協力お願いします



前号、前々号の機関紙でもお知らせしましたが、センターではチャリティーバザーを企画しています。

今年は、全身性介助人派遣事業が6月1日から始まり、新事務所に移転、またNPO法人格を取得するなど大きく環境が変化している年となっています。しかし、慢性的な財政難はいまだに解消されていません。そこで、収入源の確保、あわせて多くの人に活動を知ってもらうことによって事業を地域に広めるきっかけとすることなどを目的にチャリティーバザーを行いたいと思います。そこで引き続き、バザーで売り出す商品の提供をお願いいたします。

本、食器、衣料品、ゲーム、CD、ラジカセ、ウォークマン、その他バザーにふさわしいものなら大歓迎です。また、お中元やお歳暮でもらった未使用のタオル、食器、買い替えのときに不要になった小型家電品なども大歓迎です。

